

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成4年6月29日 第13報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Phormidium tenue</i> *	200		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	20		
(黄鞭) <i>Mallomonas</i> sp.	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	560	○	
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	120		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	80		
(渦) <i>Ceratium hirundinella</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	80		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	360		
(緑) <i>Dichotomococcus curvatus</i>	20		
(緑) <i>Pediastrum duplex</i>	320		
(緑) <i>Scenedesmus</i> sp.	160		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	960	◎	◎
(緑) <i>Closterium</i> sp.	20		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	60		○
(緑) <i>Staurastrum pingue</i>	40		
(藍) 藍藻綱	200	6.6	0.4
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	40	1.3	0.2
(珪) 珪藻綱	760	25.0	6.4
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	0.7	4.2
(褐) 褐色鞭毛藻綱	440	14.5	1.4
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1580	52.0	87.5
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	3040	総体積	1.42E+07
種類数	16	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	960

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Melosira granulata</i>	560

植物プランクトン第1優占種



***Closterium aciculare*
var. *subpronum***
(ミカヅキモ)
緑藻綱

夏季に非常に多く増殖する。琵琶湖で最も多く見られるプランクトンの1つである。

植物プランクトン第2優占種



Melosira granulata
(メロシラグラヌラータ)
珪藻綱

細胞は円筒形で、糸状の群体を形成する。群体の両端に顕著な長い剛毛を1~3本有する。